

第1回 錯視・錯覚・だまし絵展への作品の応募

応募者 北岡明佳（立命館大学総合心理学部） akitaoka@lt.ritsumeai.ac.jp

タイトル いばらき童子の時空間のひずみ錯視

ファイル名 Ibarakidoji-hidden-opart01L.png

説明 近くで見ると波打った縞模様が描かれているが、遠くから見るといばらき童子が隠れていることがわかる。この種の隠し絵の作成方法はいくつもあるが、本作品はオストワルト表色系的並置混色変換を用いている。オストワルト表色系的並置混色変換とは、画素を黒色・白色・純色に分解して、それぞれの量を面積として表現する技法である。隠し絵にするために、まず原画のコントラストを下げる変換を行う。その後、そのコントラストの低い画像に対してオストワルト表色系的並置混色変換を施して作成した。



(いばらき童子の画像は茨木市観光協会の許諾を得て使用)